

お客様へ

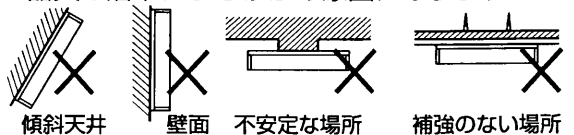
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
		禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。 	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		

 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
 接触禁止 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止 ガス機器など、温度が高くなるものの上への取 付けや、器具の下にストーブなどの高温のもの を置かないでください。また、燃えやすいもの を近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
 水ぬれ禁止 この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	
 禁止 周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	
 禁止 ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	 厳守 この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別 があります。必ず取付ける地域の周波数と器具 の周波数があるか確認してください。 →間違って使用すると火災の原因になります。 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

<保証について>

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。
但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。
3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎていたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の小泉産業「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)

お買上年月日

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

本体：1年間 安定器：3年間

お客様お名前

ご住所

電話 ()

小泉産業株式会社

取説No. M901-022 HR/S・T

■定格

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
ABG446080	AC100V	50または	22W	FL 20SS/18×1
BBG445008		60Hz	18W	FL15×1

※器具が消灯していても自動(センサ)モードの場合、約1.3Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、動作切替スイッチを「切」にしてください。

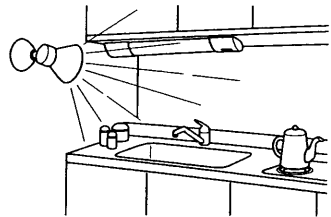
■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

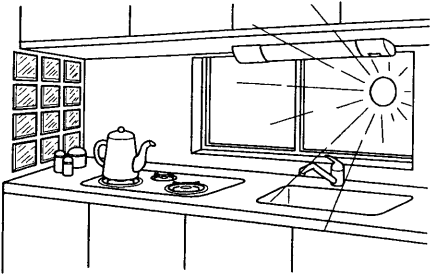
2 設置場所を確認する

・下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

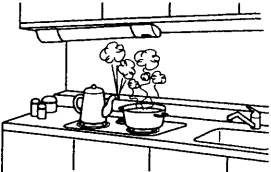
白熱灯照明器具の近くには取付けないでください。



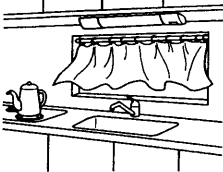
感知エリア内に、ドアや窓など、太陽光線や強い光が入るガラス材を使用している造営物がある場合は、誤作動することがあります。
センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。



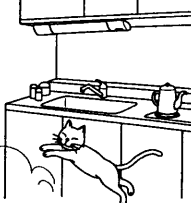
ガスレンジなどの高温熱源付近や調理中の蒸気や煙が直接センサに入る場所には取付けないでください。



感知エリア内に障害物や風などでよく揺れるもの(植木、カーテン)のある場所には取付けないでください。



感知エリア内に小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。



・無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

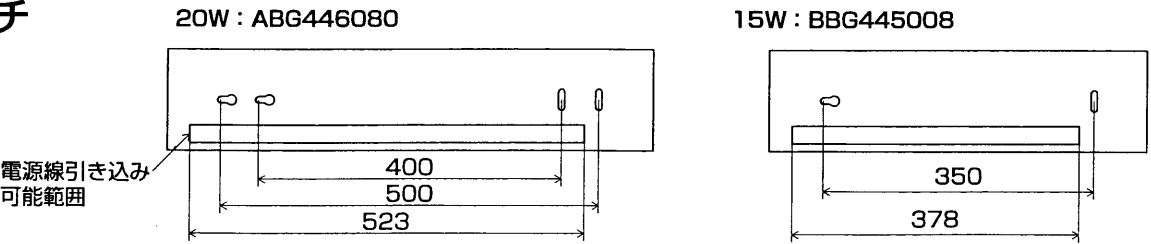
3 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

4 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

5 取付ピッチ

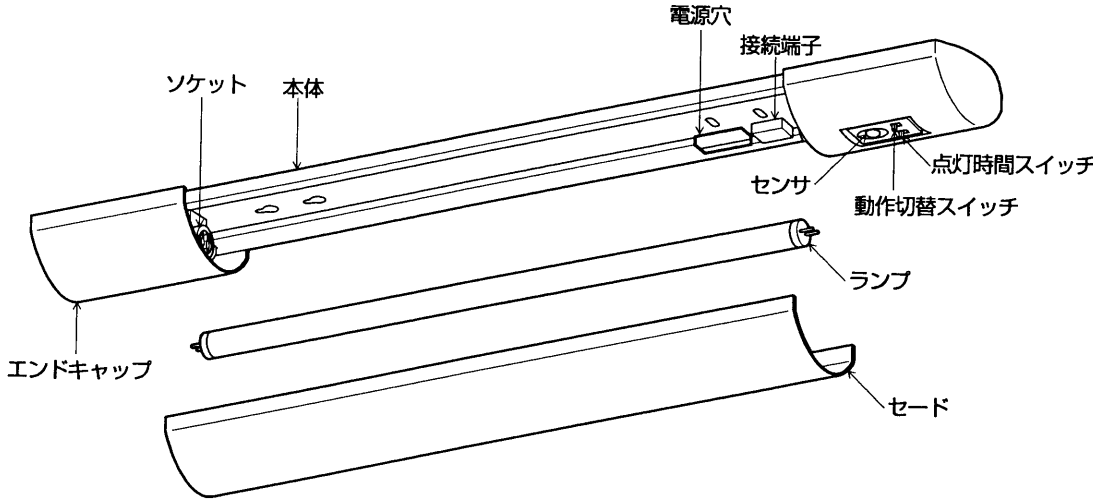


■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM-EEFケーブルを使用する場合は表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒色テープなどで保護してください。
→火災・感電の原因になります。

ただし、「タイシガイセンEM-EEF」は、一般のEM-EEFのような黒色テープによる遮光処理の必要がありません。

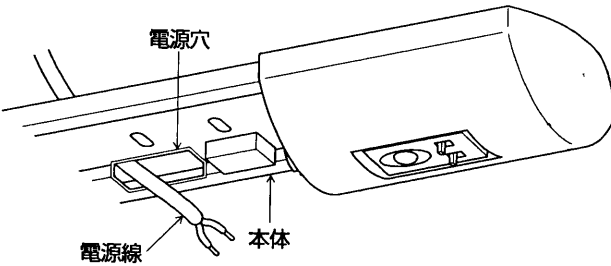


〈付属部品〉

- 取付ネジ(長)
φ3.8×38mm・・・2本
- 取付ネジ(短)
φ3.5×16mm・・・2本

1 電源線を本体に通す

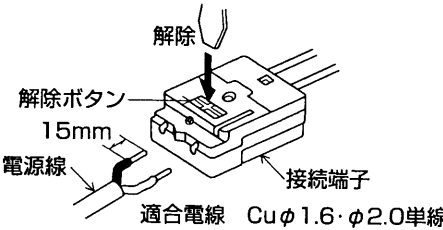
電源線を本体裏側より電源穴に通す。



2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

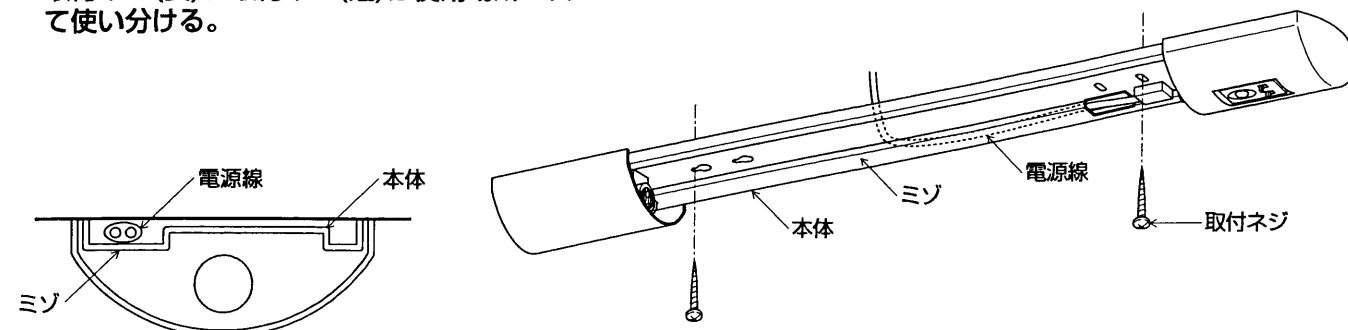
△警告 電源の接続を確実にこなしてください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



3 本体を取付ける

電源線が本体のミソにおさまるようにして、本体を取付ネジで天井面に取付ける。

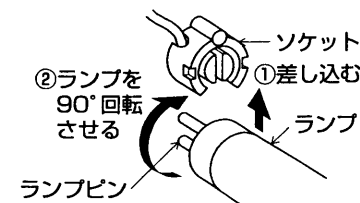
※取付ネジ(長)、取付ネジ(短)は使用場所に合わせて使い分ける。



4 ランプを取付ける

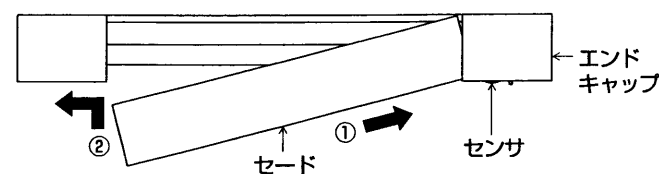
ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



5 セードを取付ける

セードをセンサの付いているエンドキャップ側に押し当てながら、反対側のエンドキャップに差し込む。



6 点灯の確認を行なう

■センサの内容

センサ部について

<動作切替スイッチ>

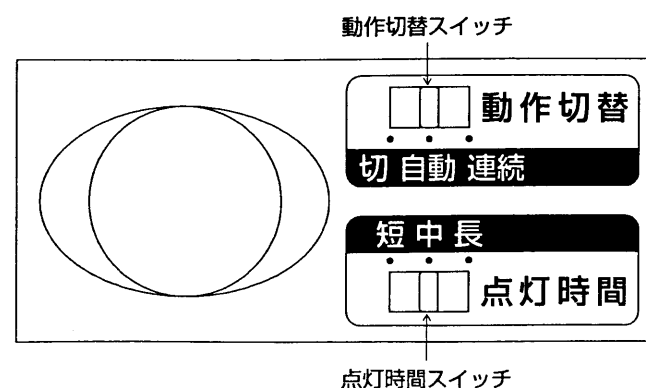
器具の点灯状態(モード)を設定します。

切 : 消灯
自動 : センサが作動し、自動点灯
連続 : 連続点灯

<点灯時間スイッチ>

自動(センサ)モードの人を感知して点灯する時間を設定できます。

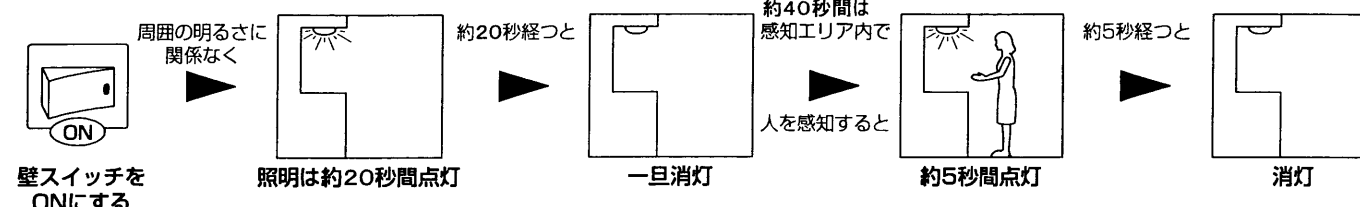
短 : 約5秒
中 : 約60秒
長 : 約360秒



■感知エリアの設定

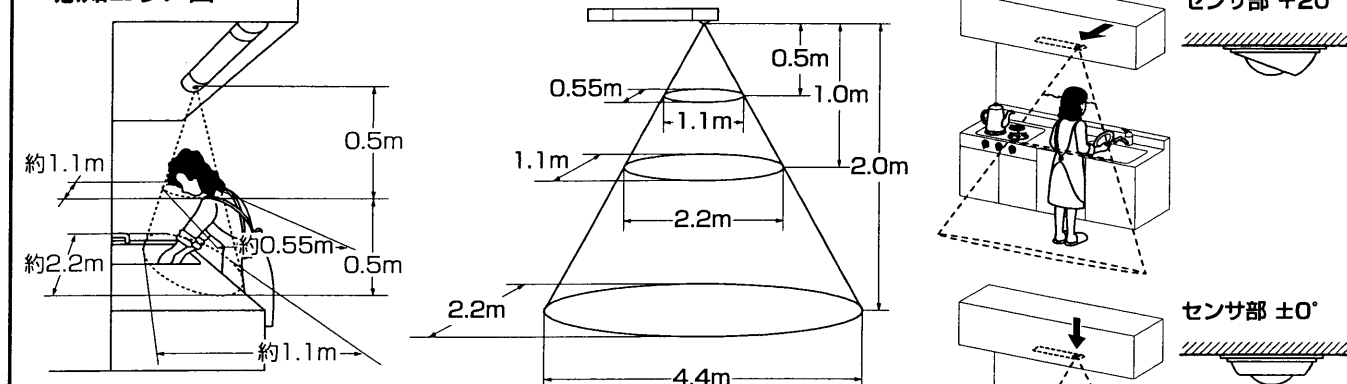
右図のように、動作切替スイッチを「自動」に、点灯時間スイッチを「短」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

- ①電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間人を感じるとに約5秒間点灯します。結線および負荷の作動を確認できます。電源投入から約60秒後に一旦消灯します。
- ②人を感じする毎に約5秒間点灯します。感知エリア内を歩き、エリアの確認を行ってください。

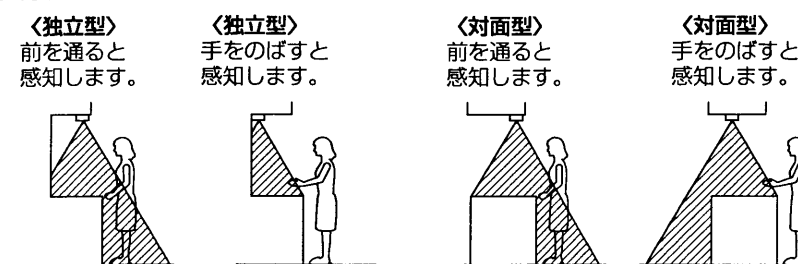


※感知エリアは気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

感知エリア図



取付位置図

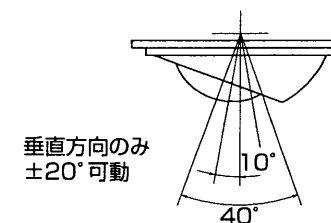


・センサ部を動かして感知エリアを調整できます。

※センサに向かっている動作では感知しにくい場合があります。

※調整範囲以上無理に動かさないでください。

※エリア確認後は必ず点灯時間スイッチを「中」または「長」にしてください。

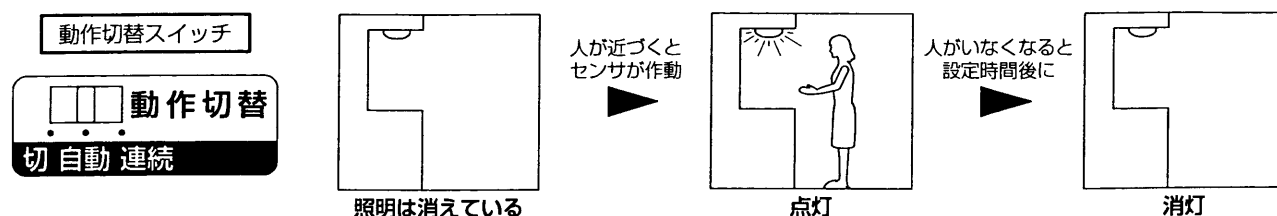


■器具の設定

※ご使用の環境に合わせてスイッチで動作と点灯時間を設定してください。

●自動(センサ)モード

センサが作動し感知エリア内に人が近づくと自動点灯し、設定時間になると消灯します。

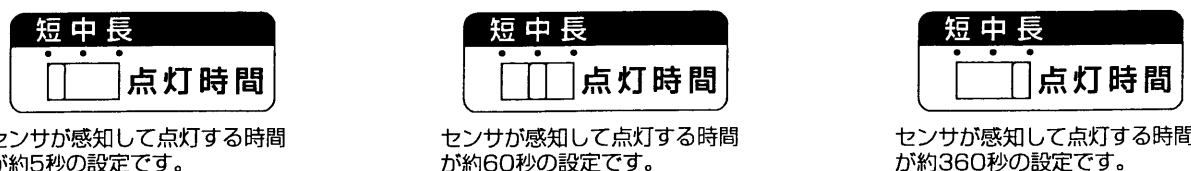


※センサ待機モードに設定中は壁スイッチ操作(OFF→ON)を行なうたびに、約20秒間点灯し、その後約40秒間は、人を感知するごとに約5秒間点灯します。

電源投入から約60秒後に一旦消灯します。

・点灯時間について(点灯時間スイッチ)

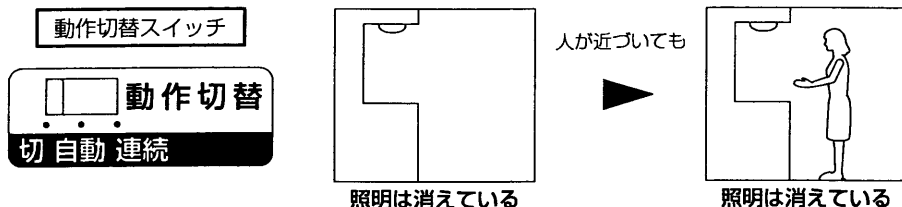
※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

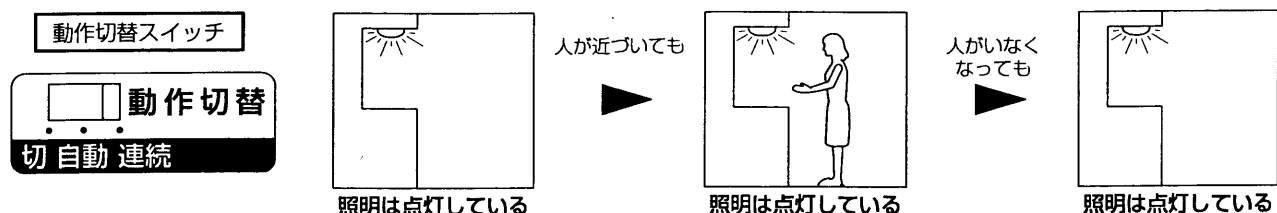
●切

人体感知に関係なく器具は消灯します。



●連続点灯モード

人体感知に関係なく器具は連続点灯します。



＜ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプの壁スイッチを使用する場合＞

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとブルース動作が正常にはたらない場合があります。

壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

＜パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプの壁スイッチを使用する場合＞

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

＜押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプの壁スイッチを使用する場合＞

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。



器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合は購入店にお申し出ください。
- ・点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。点灯時間を「長」(360秒)にすることをおすすめします。
- ・自動(センサ)モードの場合、点灯・消灯時に「カチッ」と音がしますが、故障ではありません。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

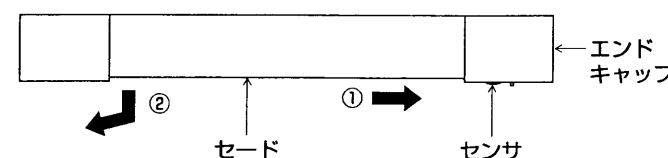
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 セードを取外す

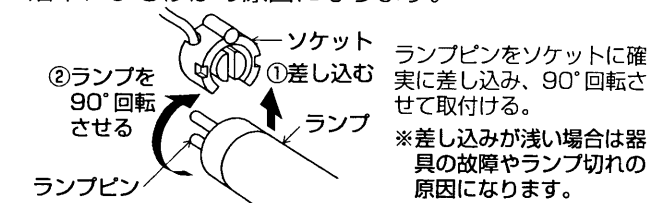
セードをセンサの付いているエンドキャップ側へ押しながら両手で支え、反対側のエンドキャップから下側へ取外す。



3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。落下によるけがの原因になります。



5 セードを取付ける

セードをセンサの付いているエンドキャップ側へ押し当てながら、反対側のエンドキャップに差し込む。

■施工手順5を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- ・蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。